



広島市立安佐市民病院広報紙

—第37号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

いぬいねい



広島市病院事業管理者

影本 正之

昨年4月に広島市の病院事業管理者に就任しました影本です。時の過ぎるのは早いもので、もう2回目の桜の季節を迎えました。

私は広島大学を卒業後、昨年まで「がん」の放射線治療の専門医として35年間を過ごしてきましたが、安佐市民病院には昭和57、58年の2年間、週1回から2回ほど放射線治療部門を開設するため大学病院から診療援助に来ていました。昨年、久しぶりに病院を訪れましたが、レンガ色の壁に懐かしさを覚えるとともに職員の活気と、充実した診療内容に目を見張りました。

病院事業管理者の主な仕事内容は、広島市立である安佐市民病院、広島市民病院、舟入病院、総合リハビリテーション病院、そして安芸市民病院の管理・運営ですが、就任早々、この5病院の経営形態の見直し、検討と、安佐市民病院の建て替えの基本構想の策定が大きな業務として加わりました。経営形態については、昨年、外部委員による検討会で審議をしていただき、その結果、現在の広島市の直営といった形態から、平成26年4月を目標に安芸市民病院を

除く4病院を一群として独立行政法人化する予定になりました。

広島市の直営でなくなる影響を心配される方もおられますが、独立行政法人化しても高度医療、救急など市民の皆さんに提供する医療の内容が変わるわけではありません。経営の自由度が増して看護師や薬剤師、技師などの増員が柔軟に行えますので、医療サービスの向上につながると思っています。

建て替えについては、重厚感のある建物も開設から30年が経過して老朽化し、耐震の問題もあって早期の建て替えが必要です。現在、新しい病院の機能については内部で議論を重ねていますが、建設場所については、広島市役所が策定したプランを地元の皆様をはじめ多くの方に検討していただいているところです。

安佐市民病院は、今後も信頼され愛される広島市の基幹病院として医療内容の充実に努めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。



【病院機能評価】



安佐市民病院の理念と基本方針

理念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

診療科紹介

麻酔・集中治療科

開院以来麻酔科として手術麻酔とペインクリニックを行っていましたが、1992年に高次診療部が開設され、麻酔・集中治療科として救急医療や重症患者の診療に従事しています。

近年、さらに緩和ケアや災害対応など、活躍の場が増えている麻酔・集中治療科の業務について紹介します。

1. 手術麻酔

手術麻酔は麻酔・集中治療科の最も大きな業務です。当科の関与する手術件数は年々増加しており、手術時間も長時間化の傾向を認めます。平成23年の麻酔科管理症例数は3,692例でした。この傾向は今後も続くと考えます。

2. 集中治療室での患者管理

集中治療室での患者管理は次の救急医療と併せて、当科の業務の二本柱の一つです。平成22年には地域からの重症患者管理の要請に応えるべく集中治療室を従来の4床から8床に増床となりました。

実質的な運営は主任部長の世良と部長の田原および麻酔・集中治療科からの嘱託医の1名で担当していますが、24時間体制での運営のために麻酔・集中治療科スタッフ12名（嘱託医4名を含む）と循環器科、心臓血管外科、脳神経外科、神経内科スタッフに応援いただいています。

人工呼吸などに加え、透析などの血液浄化、循環確保のための機械式循環補助、心肺蘇生後の低体温療法など、患者さんの社会復帰に向けて積極的な治療を行っています。

3. 重症度緊急度の高い救急患者の初療

バイタルサインに異常を来すほどの重症救急症例に対する初療を担うことにより、地域への貢献を目指しています。重症患者では初期治療が重要との観点から救急隊との間にホットラインを設けて収容依頼に応え、さらに地域の医療機関からの依頼にも応じています。

将来的には総合診療科と協力し地域の救急医療の総合窓口となることを目指します。

4. 病院内の急変事案への対応

当院入院中の患者さんの予期せぬ急変に対し、麻酔・集中治療の知識を活かし緊急処置に当たっています。また院内急変事案では多数の人員を要すことから、院内の「ハリーコール」の体制を整えました。

5. 癌性疼痛に対する緩和ケア

地域がん診療連携拠点病院においては多職種職員の参加による癌性疼痛に対する緩和ケアの機能が重要です。手術麻酔や術後疼痛に対する鎮痛の手法・知識を応用して、院内の癌性疼痛に対する治療も行っています。

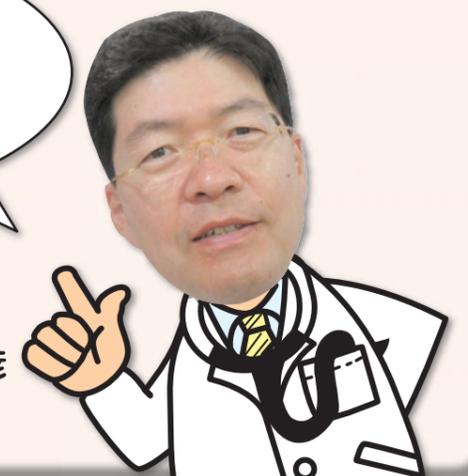
6. 災害医療への対応

平成22年の県災害訓練を契機に院内の災害対策を再整備しました。この過程で厚労省主催の研修の受講やDMAT（災害時派遣医療チーム：災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム）の養成などを行い、病院内でのマニュアルの整備、地域で開催される災害医療訓練などに対応できるよう準備しています。



当院の麻酔・集中治療科は多方面で活躍の場が増えており、その現状に対応しきれない面もありますが、これからも地域住民の皆さまの期待に応えるべく体制の整備に努めてまいります。今後の麻酔・集中治療科にご期待ください。

主任部長
世良 昭彦



肝臓病教室の 開催について



健康管理部主任部長
辻 恵二



当院では医師、看護師、栄養師、薬剤師ならびに医療クラークからなる「いきいき肝臓チーム」を結成し、2012年10月より2ヶ月ごとの間隔で肝臓病教室の開催を行っております。肝臓病教室の開催は広島大学病院、県立広島病院について県内で3番目になります。

「いきいき肝臓チーム」の医療スタッフが交代で情報提供を行い、そのあとのグループワークにおいて患者さんが肝臓病に対して不安に思っていること、困っていることなどの相談を受けることにより、医療スタッフと患者さんのコミュニケーションの場になるように心がけています。

このグループワークには2つの効用があります。一つは他の患者さんのインターフェロン療法や肝がん治療などの体験を聞くことで、患者さんは自分自身の未来像を描いたり、どのように病気を乗り越えられたかを知ることができ、不安感が取り除かれることです。もう一つは自分の体験を語ることで自分の過去の闘病を整理することができ、新しい治療に対する心の準備につながります。さらに体験談に共感してくれる人がいれば、精神的安心感が生まれQOLの高い生活ができるようになります。

肝臓病教室では集団指導により効率よく情報を提供できるだけでなく、医療スタッフも患者さんが何を望み、何をすべきかを知ることができ、医療スタッフと患者さんのコミュニケーションのみならず医療スタッフ間の連携の教育的場にもなっています。

参加された方からは、「グループ討議は和やかな雰囲気であった。次回を楽しみにしています」との声も聞かれています。

当院の肝臓病教室はどこの医療機関にかかっている患者さんでも、さらにそのご家族の方も無料で参加ができます。現在は当院南館3階の講堂で開催していますが、将来的には医師会館で行うなど地域医療機関との連携の場になればとも考えております。

今後の開催予定は別表の通りとなっています。どうぞ気軽にお越し下さい。

別表

**〈安佐市民病院〉
肝臓病教室のお知らせ**

開催：2ヶ月毎(偶数月)
第2火曜日 14:30~15:30

場所：安佐市民病院3階講堂

対象者：慢性肝炎、肝硬変、肝臓癌などの慢性肝臓病の患者さん及び御家族

※ どなたでもご自由にご参加ください。申し込みも不要です。



＝ 今後の肝臓病教室予定 ＝

日付	担当	講演題名
4回目	医師	肝臓の内科的治療～その1～
4/9	看護師	肝性脳症について
	栄養士	「肝臓を守る」食事バランスとは？
5回目	医師	肝臓の内科的治療～その2～
6/11	看護師	入院中よくある質問 Q&A
	栄養士	薄味でおいしく 肝臓にやさしい食事

お問い合わせ
広島市立安佐市民病院 内科外来もしくは医療連携室まで
TEL (082)-815-5211 (代表)

★春の★
★おすすりめ★
★メニュー★



季節のお勧めメニュー第2弾のテーマは「春」♪
きれいな桜を眺めながら、手作りお菓子はいかがですか？
今回は「スコーン」のレシピをご紹介します。
季節の果物で栄養満点！甘味を抑えればお食事にも向きます。

スコーンで栄養up

★の材料を「人参+マーマレード」「ほうれん草+バジル」等にアレンジして、お野菜スコーンに♪



いちごの春色スコーン		作り方
材料(6個分)		
a	薄力粉	200g
	ベーキングパウダー	小さじ2
	無塩バター	60g
	★いちご(はたを除く)	50g
	レモン果汁	小さじ1
	溶き卵	1/2個分
	牛乳	大さじ1~2
	グラニュー糖	30g
	★いちごジャム	大さじ2
1個分【252kcal/塩分0.3g】		

- ①バターはさいの目に切り、冷しておく。
- ②カップなどにいちごを入れてレモン汁を加え、フォークでつぶす。溶き卵と牛乳を加え軽く混ぜる。
- ③大きめのボールにaをふるい入れ、グラニュー糖を加える。①のバターを加えて指先でつぶし、手のひらで粉をこすり合わせて混ぜる。
- ④パン粉のような状態になったら、②といちごジャムを加え混ぜてひとまとめにする。
- ⑤打ち粉(分量外)をした台の上に出し、めん棒で2cm厚さにのばす。
- ⑥直径6cmくらいの丸型で抜く(包丁等で切り分けても良い)。
- ⑦オープンシートを敷いた天板に⑥を並べ(お好みで②で残った卵液をハケで表面に塗る)、220℃に熱したオープンで約12分焼く。

参考文献: 栄養と料理



●栄養室 ● 管理栄養士 賀築二美栄

防災訓練をおこないました



安佐市民病院では2月22日に防災訓練をおこないました。深夜に地震が発生し、その後北3病棟から火災が発生したという想定での訓練でした。

北3病棟のスタッフにはあらかじめ火災が発生することは知らされていませんでしたが、火災発生後の対応は迅速で的確でした。

訓練を担当された安佐北消防署予防課の星本課長からの講評においても、「深夜の火災でスタッフが不足している状況を想定した訓練でありながら各部門からの応援体制が迅速で、消火作業や患者の搬送および誘導も指示に従って的確にできていた」とのお褒めの言葉をいただくことができました。

実際に災害などは起きてはいけませんが、いつも震災等を予測しながら日常の業務をおこなうことの重要性が再確認できました。



医事係から保険証確認のお願い

医療機関では受診の際に毎月保険証の確認をさせていただいています。

保険診療の場合、患者様が窓口で支払う金額は医療費の一部です。残りの金額は医療機関から保険者へ請求しています。その請求先を確認するために保険証を確認させていただいております。

就職・転居等で保険証が変わった場合は、窓口にお申し出ください。新しい保険証がお手元に届いていない場合もその旨をお伝えください。

正しい保険請求のためにご協力をお願いいたします。



総合相談室からのお願い

介護保険サービスをご利用の皆さまにお願いいたします。

入院されましたら、介護保険認定内容やケアマネジャーに関する情報を看護師にお伝え下さい。必要に応じて患者さんやご家族の同意を得ながら地域のケアマネジャーの方と連携をとって行きたいと思っております。

施設案内 一車いす用公衆電話

車いすご利用の方の公衆電話は正面玄関中央階段横に設置しています。どうぞご利用下さい。



★国際ソロプチミスト広島 児童書100冊を寄贈★

女性ボランティア団体「国際ソロプチミスト広島」（広島市中区）から、1月22日、絵本や児童書計100冊の寄贈をうけました。早速、南館8階小児科病棟のプレイルームに設置され、入院児童の心の癒しとなっています。

当日は、メンバー6人と病院を訪れた上野早苗会長が、多幾山病院院長に目録を手渡し、当院からは感謝状を贈呈しました。

同団体は、毎年秋に開くバザーの収益金で市内の病院に本を贈り続けています。当院には2013年から2017年まで、毎年100冊を贈っていただけるとのことです。

上野会長は、「親子で楽しく本を読んでもらって、早く元気になってほしい。」と話され、多幾山病院院長は、「子どもの心の癒しにつながるよう大切に使用したい。」と謝辞を述べました。



今年も「可部っ子、花いっぱい大作戦」



可部の街をきれいに明るく楽しくするために可部中学校、可部小学校、可部南小学校の3校が協力して「可部っ子、花いっぱい大作戦」を本年も展開しています。

3月6日には可部南小学校の5年生の皆さんが安佐市民病院にパンジーのプランターを届けて下さり、病院正面玄関入り口付近に設置しました。これからは子どもたちが時々水をやりに来てくれます。

安佐市民病院では子どもたちと一緒にこの可憐な花を大切にし、可部の街が花いっぱいでも元気で笑顔のあふれる楽しい街になることを願っています。



★保育室の滑り台が★ ★新しくなりました★



3月4日、保育室に新しい滑り台が入りました。

晴天の中、テープカットのあとみんなで滑り初めをおこないました。

園児は順番が待ちきれない様子で、大喜びでした。



「健康祭り」開催の延期について

例年5月に開催しています安佐市民病院健康祭りは、昨年に引き続き本年も会場の都合により秋（10月頃）の開催とさせていただきます。

開催日等の詳細が決定次第、ポスター等でお知らせいたします。多数の皆様のご来場をお待ち申し上げます。